

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年10月17日（木）

2 確認箇所

- ・免震重要棟集中監視室
- ・陳場沢川河口付近

3 確認項目

- (1) 1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の実施状況
- (2) 台風19号により崩れた陳場沢川北側道路脇の法面の状況

4 確認結果の概要

- (1) 1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の実施状況について

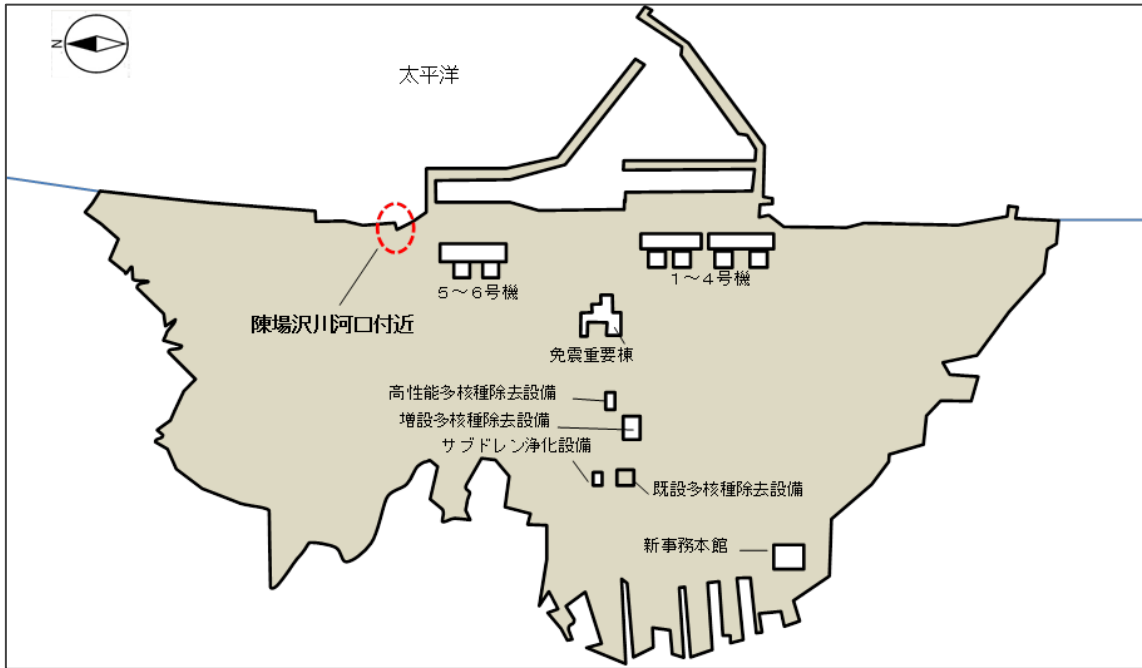
原子炉注水停止時の手順の最適化や運転・保守管理上の改善等を行うことを目的とした1号機燃料デブリ冷却状況確認試験の1号機原子炉注水停止試験が10月15日から開始されており、本日（10月17日）、1号機の給水系原子炉注水の復旧操作が行われたことから、免震重要棟集中監視室で実施状況等を確認した。

- ・免震重要棟集中監視室と現場の東京電力社員が緊密に連絡を取り合い、慎重に作業を進めていた。
- ・作業は11時03分から12時31分にかけて実施され、問題なく原子炉注水の復旧操作が行われた（0 m³/h→約1.5 m³/h）。
- ・作業開始前後で、プラント関連パラメータに異常な値は確認されなかった。
- ・東京電力によると、今後、24時間以上経過する毎に原子炉注水流量を0.5 m³/hずつ増加させ、試験開始前の3.0 m³/hまで戻すとのことである。

- (2) 台風19号により崩れた陳場沢川北側道路脇の法面の状況について

台風19号の降雨による影響により、構内北東側の陳場沢川北側道路脇の法面が崩れたことから状況を確認した。

- ・法面より崩れた土砂は既に撤去されており、応急措置として土のうが設置されていたことから、現場確認時には車両の通行に支障はなかった。（写真1）
- ・確認した範囲では、崩れた土砂による周辺設備等への影響は見られなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
黄枠部分：法面が崩れた箇所



(写真1-2)
法面が崩れた箇所の拡大写真

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。